

授業科目 生化学	区分・教育内容		
	専門基礎分野 人体の構造と機能		
授業担当者 大学からの非常勤講師	開講時期	単位	時間数
	前期～中期	1 単位	30 時間
授業の目的 人体の構成成分であるタンパク質、糖質、脂質、核酸の構造、性質について学び、生体内でどのように代謝されているかを学ぶ。			
授業の目標 生命体の構造単位である細胞の構成成分が示す化学反応と代謝機序を分子レベルで理解する。			
授業概要 生化学は生命現象を分子の挙動として解明することを目的とした学問であり、近年めざましい発展を遂げ、生命現象の最も重要な基礎となっている。本講義では、人体の構成成分であるタンパク質、糖質、脂質、核酸についてその構造と性質を学び、またそれらの生体内における生合成や分解といった代謝についても学ぶ。人体を支える基本メカニズムへの理解を深めることにより、将来の看護の実践のための一助になると考える。また、他の科目で得た授業内容との相互理解が大変重要になってくるので、常に生化学的な視点から考える習慣を身につけてほしい。			
授業計画(進め方) 1 回目 生化学の基礎 2 回目 水と無機質 3 回目 細胞の構造と機能 4 回目 アミノ酸とタンパク質 5 回目 糖質 6 回目 脂質 7 回目 核酸 8 回目 ホルモンと生理活性物質 9 回目 代謝と酵素 10 回目 ビタミンと補酵素 11 回目 糖質代謝 12 回目 脂質代謝 13 回目 タンパク質代謝 14 回目 血液 15 回目 遺伝情報			
テキスト 系統看護学講座 専門基礎分野「生化学」 第14版 医学書院			
参考書・指定図書 生化学辞典 第4版 東京化学同人			
評価の方法 出席、筆記試験による総合評価			

